



No. 284

2022
Apr.



<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

奈良県自閉症協会 NEWS

きずな

The Kizuna

発行人：

関西障害者定期刊行物協会

編集人：奈良県自閉症協会

支部長&事務局：河村舟二

〒639-1005

大和郡山市矢田山町 84-10

購読料 1部 100円

会員は会費に含まれています。



コロナ禍のため、これまで中止を余儀なくされていた大和郡山市のお城まつりが、今年は天候に恵まれ、満開の桜にも恵まれ、行われました。4月1日と2日、郡山城天守展望台施設では世界自閉症啓発デーに呼応したブルーライトアップが行われました。4月2日奈良県自閉症協会では、啓発活動のブースを設け、リーフレット等の配布や世界自閉症啓発デーの説明アナウンスを行いました。桜の開花にあわせておこなわれるお城まつりの期間中もあり、多くの市民が桜見物を兼ねて、ブルーライトアップを見にいられていました。郡山城天守展望台でのブルーライトアップは2017年4月2日、上田清大和郡山市長の提案のもと、奈良県で最初の取り組みとして行われ、以来、毎年続けられています。今回は自閉症当事者と家族

関係者が入れ替わり立ち代わり、次の内容のアナウンスを行い、会場内に響き渡りました。「お城まつりへご来場のみなさま、こんばんは。みなさま本日4月2日は、世界自閉症啓発デーです。また、8日までは発達障害啓発週間です。自閉症や発達障害のある人とともに、みんなが夢と希望をもってしあわせに暮らせる社会を願い、今夜は日本全国、世界各国のランドマークが、シンボルカラーの青色にライトアップされています。みなさまの幸せを願い、お城まつりの天守台が今夜は青くライトアップされていますのでぜひご覧ください。特設ブースでは世界自閉症啓発デーのリーフレットもお配りしております。では、お城まつりをごゆっくりお楽しみください。」当事者がマイクを持つアナウンスはそれぞれの声に独特の変化があり、ユー

モラスで好評でした。セサミストリーのジュリアちゃん等のイラストが描かれているリーフレットは小さいお子さんに特に人気があり、多くの方が受けてくださいました。今回、大和郡山市の障害福祉課の職員さん5名ほどがブースのお手伝いに来てくださり、そのうえ、上田清大和郡山市長ご夫妻もブースを訪れてくださいました。以上様子は日本自閉症協会のホームページ「世界自閉症啓発デー 2022 全国各地の取り組み結果紹介」に掲載されていますので、ぜひ一度ご覧ください。また、記録動画をYouTubeに掲載しています。このように、今回、奈良県自閉症協会では無事ブルーライトアップ活動が出来たことを皆様に感謝申し上げます。また来年以降もよろしくをお願いします。

（河村）

2022年度特定非営利活動法人奈良県自閉症協会第15回総会の実施について

いまま新型コロナウイルス感染症への対策が叫ばれていますが、NPO法では毎年1回社員総会を開催することが明記されており、コロナ禍でも省略することはできません。そこで、今回も、新型コロナウイルス感染症への対処を考慮して、集まる人を出来るだけ少なくした

総会を行います。会員の過半数の委任状か書面表決を頂くことで、総会を成立させたいと考えています。皆様のご協力をお願いします
日時令和4年（2022年）6月6日 月曜日 11:00～13:30
場所 大和郡山市社会福祉会館 2階会議室
総会議案書は奈良県自閉症ホームページに掲載します。
<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>
（5月中旬に掲載予定）をご覧ください。

さい。
総会の各号議案についてのご質問ご意見あれば、kawafune@ares.eonet.ne.jp までメールをください。総会の日までに、お知らせいただければ、当日、説明や審議事項として取り上げたいと思います。正会員の皆様には、追って出欠（委任状又は書面表決）ハガキをお送りしますので、お手数ですが、必ずご記入後事務局に送り返していただきますようお願いします。

NHKハートフォーラム

参加無料

SDGs理念 “誰ひとり取り残さない” 社会の実現

～困りをかかえる発達障害の人たちから考える～

一見社会に溶け込んでいるように見えながら、孤独感や生きにくさを感じている発達障害のある人たち、また一方、社会から隔離されたような生活を送る強度行動障害の人たちがいます。さまざまな社会的マイノリティを抱える人たちが安心して暮らせる“誰ひとり取り残さない”社会の実現に向けた一歩を考えます。

2022(令和4)年 6月11日(土)

■受付：午後0時30分 ■開演：午後1時

終了予定：午後4時20分

京都産業会館ホール・北室

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78

記念講演

「発達障害の人って、どんな人？」
～診断名よりも大切なこと～



講師/小島 慶子

1972年 オーストラリア生まれ。幼少期は日本のほか、シンガポールや香港で育つ。学殖院大学法学部政治学科卒業後、1995年にTBSに入社。アナウンサーとしてテレビ、ラジオに出演する。1999年第36回ギャラクシーDJバーソナリティ賞を受賞。ワークライフバランスに関する社内の制度づくりなどにも広く携わる。2010年に退社後は各種メディア出演のほか、執筆・講演活動を精力的に行い、現在は東京大学大学院情報学環客員としてメディアやジャーナリズムに関するシンポジウムの開催なども行っている。10代～20代で摂食障害、30代で不安障害を経験し、40歳を過ぎてから発達障害の一つである軽度のADHDと診断されたことを公表。自身の経験を基に、病気や障害についても積極的に発信している。「あさいち」「ハートネットTV」「マイあさ」「サタデーエッセイ」など、NHKテレビ・ラジオへの出演多数。

シンポジウム

「“誰ひとり取り残さない”
社会を目指して」

出演

門 眞一郎(フリーランス児童精神科医)
松上 利男(社会福祉法人北摂杉の子会 理事長)
富家 直樹(京都市教育委員会 首席指導主事)
澤 月子(社会福祉法人南山城学園 スーパーバイザー)

参加申込 参加は無料ですが、事前に入場整理券の申し込みが必要です。

【はがき・Faxでのお申し込み】「6月11日 ハートフォーラム参加希望」と明記の上、

①郵便番号・住所 ②名前(ふりがな) ③電話番号 ④希望人数(最大2名まで)を書いて、下記までお送りください。

〈はがき〉〒540-8501(住所不要) NHK厚生文化事業団近畿支局 宛

〈Fax〉06-6941-0830

【Webでのお申し込み】NHK厚生文化事業団ホームページにある応募フォームからお申し込みください。

〈ホームページ〉<https://www.npwo.or.jp/>

※先着順に受け付け、定員に達し次第締め切りとさせていただきます。※入場整理券は6月1日頃、封筒に入れてお送りします。

お問い合わせ/NHK厚生文化事業団近畿支局 電話06-6232-8401(平日・月～金・午前10時～午後6時)



京都市地下鉄丸太町線「丸太町」駅、阪急京都線「丸太町」駅から各徒歩2分

※ご応募いただいた個人情報は適切に管理し、このフォーラムに関する連絡のみに使用いたします。
※新型コロナウイルス感染症の状況や、雨天などの影響により開催を中止する場合があります。

主催：NHK 京都放送局、NHK 厚生文化事業団近畿支局 共催：一般社団法人 日本自閉症協会近畿ブロック 協力：大阪府共同募金会

自閉症のひとを支援する方のための連続講座

全5回

6月・7月・9月・10月・11月

自閉症児者支援者養成 オンラインクラスルーム2022

ー最新の知見に基づく構造化支援の理解ー

「幼児期から成人期まで幅広い視点での講義で良かった」「構成の流れやつながりが明確でとても分かりやすい」「具体例や写真での提示が多くイメージしやすい」など毎年好評を博している、支援者の方のための講座です。

こんな方におすすめの講座です

- ☐ エビデンスに基づいた支援を知りたい方
- ☐ 自閉症支援を体系的に学びたい方
- ☐ 構造化の考え方の理解を深めたい方
- ☐ 最新の自閉症支援を知りたい方
- ☐ ASDの人へのアプローチを知りたい方
- ☐ ASDの人の行動の捉え方を知りたい方

講師profile



重松 孝治氏

川崎医療福祉大学
子ども医療福祉学科 講師

大阪教育大学教育学部障害児教育専攻卒業。同大学院修士課程修了。大阪府立の特別支援学校教諭を経て、2007年より川崎医療福祉大学・医療福祉学科講師。2014年より現職。滋賀では毎年支援者養成クラスルームの講師を務める。
TEACCH® 上級コンサルタント

プログラム内容

- 第1回 6/16 自閉症の理解
- 第2回 7/21 構造化された指導の基礎
- 第3回 9/29 構造化して支援すること
①コミュニケーション
- 第4回 10/13 構造化して支援すること
②他者との関わりへの支援
- 第5回 11/17 構造化して支援すること
③余暇活動への支援

ZoomによるWeb配信のセミナーです

- 対象：自閉スペクトラム症の人たちを支援する立場の方（保護者を除く）
- 定員：50名程度（先着順）
- 時間：全回19：00～21：00
- 受講費：お一人15,000円（税込み）

お申込みは
こちらから



しめきり
5/15
(日)

NPO法人 滋賀自閉症研究会 たんぽぽ

✉ tpshigaentry@gmail.com

🌐 <https://npotanpopo.jimdofree.com/>

〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8

☎ 077-575-3796 open: 月・木（祝日除く）10～14時



大人になった自閉スペクトラム症者の姿と 彼らが必要としてきた支援を知るために



創立25周年記念誌

成年期を迎えた たんぽぽの 子どもたち

視覚支援で始まる親子のコミュニケーション ②

NPO法人 滋賀自閉症研究会たんぽぽ

ご購入はAmazonまたは
たんぽぽホームページ内
購入フォームにて



<https://npotanpopo.jimdofree.com/>

A4版74ページ ISBN978-4-600-006617-7 定価 本体1,800円

- NPO法人 滋賀自閉症研究会たんぽぽについて
- 用語解説
- 生活介護型事業所さくら工房
- 親子療育教室たんぽぽクラブ
- 家庭での実践
- 1. 身辺自立 2. コミュニケーション 3. 自己理解 4. 進路
- 5. 成人期の生活〈仕事編〉〈余暇編〉〈暮らし編〉
- 家族の想い・支援者の想い

前著「自閉症児のための視覚支援から始まる親子のコミュニケーション」から15年。自閉症という障害を取り巻く環境が変わる中、障害特性の理解の上で、個々に合った支援を受けながら育ってきた「たんぽぽの子どもたち」は成年期を迎えました。それぞれに培ってきた力を基に、様々な自分にあった進路を選び、ひとりひとりが自分らしく自信を持って地域で暮らしています。その姿を知っていただくとともに、いま必要としている支援や今後の課題を記しています。

また、本人たちと同じ時間を過ごし、いろいろな思いをともにしてきたお父さん、おばあさん、きょうだいたちからも寄稿していただきました。

NPO法人 滋賀自閉症研究会たんぽぽ

〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8 ☎575-3796 open:月・火・木・金(祝日除く) 10時~14時

NPO法人 滋賀自閉症研究会たんぽぽ について

NPO法人 滋賀自閉症研究会たんぽぽは、1996年(H.8)6月に数名の親が集まっての学習会から始まりまし

た。
知的障害とは違う、自閉症の特性を持つ子どもたちが多くの良い経験を積み、障害特性をより多くの人たちに理解してもらうこと、そして何よりも親が我が子の最良の援助者であることを目指して活動を開始しました。

「自閉スペクトラム症児・者が、必要な時に適切な援助を受け、普通に地域で生き活きと暮らせる支援」を目指して活動しています。

自閉スペクトラム症の正しい知識の啓発や適切な療育の提供に関するさまざまな事業を行っています。

令和4年度 子ども地域支援事業主催

基礎研修会のご案内

令和3年度に引き続き、「子ども地域支援事業」の一環として、基礎研修会を実施します。作業療法・感覚統合の基礎的なお話をする機会を設けますので、多数のご参加、お待ちしております。

タイトル「子どもの行動理解と支援 ～作業療法・感覚統合の視点から～」

講師：野田 朋美 作業療法士

作業療法ってなに？感覚統合ってなに？
作業療法士がどんなことをしているのか、
またどんな視点で子どもを見ているのか…
感覚統合の基礎的な知識と、簡単な遊びや
現場で出来る活動をご紹介します。



参加費
500円

※令和3年度に開催した基礎研修会と同様の内容です。

日程：2022年7月30日(土)

時間：14:00～16:00（受付13:30～）

対象：現場で子どもと関わる保育士、教員、指導員など

定員：60名

※1施設から2名までのご参加をお願いします。

会場：県営福祉パーク

（奈良県介護実習・普及センター 総合リハビリテーションセンター南）

※コロナの感染状況により、人数や開催時間を変更する可能性があります。
その際は改めてご連絡させていただきますのでご了承ください。

こくちーずでのお申し込みとなります。

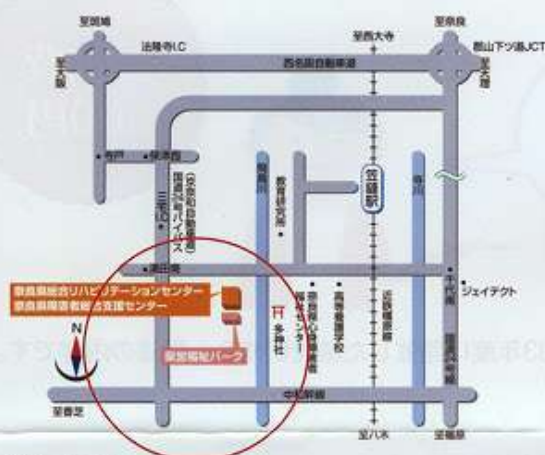
申込期間 5月1日(日)～5月14日(土)

☆お申し込み方法☆ 下記URLもしくはQRコードからお申し込みください。

<https://onl.la/HquDGB8>



- ◎申込多数の場合は抽選となります。
- ◎5月16日(月)以降に、申込された全ての方へ受講決定もしくはお断りのメールを送らせていただきます。申込時のアドレスに連絡を入れてさせていただきますので、ご確認ください。
- ◎迷惑メールなどの設定をしている方は、解除をお願いいたします。



アクセス

近鉄笠縫駅から徒歩約20分 タクシー約5分
お車で越しの方は、総合リハビリテーションセンター駐車場をご利用ください。
会場までは右図に沿って徒歩でお越しください。

お問い合わせはこちら

〒636-0345 奈良県磯城郡田原本町大字多722

☎0744-32-0200

E-mail ; kodomo.shien.nara@gmail.com

担当；奈良県障害者総合支援センター 蔭山

担当者不在が多い為、緊急時以外はメールでのご連絡をお願いいたします。

子ども地域支援事業 🔍





世界自閉症啓発デー in なら

～ 2022 春・県内の取り組みご紹介～



☆ライトアップブルー大和郡山城跡天守台（写真①と③）①
大和郡山市厚生福祉課全面ご協力のもと、桜満開のお城まつり会場で、自閉症・発達障害の当事者やご家族の方で、場内アナウンスを初めて実施しました。飛び入りアナウンス参加の方、特設ブースでの啓発リーフレット配布も好評でした。何度も何度もマイクに向かいアナウンスしてくださった皆様、ありがとうございました！

AUTISM SPEAKS!



☆田原本町立図書館（写真②）

自閉症・発達障害関連の書籍コーナーを設け、啓発ポスターや展示や、貸出可能な90冊の関連ブックリストを作成して設置。コーナーにピックアップされることで、自閉症・発達障害関連の書籍をたくさん手に取っていただき貸し出されたそうです。

②



☆大和郡山市立図書館（写真③）

毎年、郡山城天守台のライトアップとともに、自閉症・発達障害関連の書籍を収集し展示してくださっています。

③



☆奈良県立情報図書館

ユニークで原始的な作品で世界的評価の高い、自閉症と知的障害を併せ持つ陶芸家の澤田真一展（4/1～17）と開催期間が重なり、より多くの方に自閉症・発達障害理解への展示ブースを訪れていただいたそうです。

☆河合町（写真④）

河合町役場正面入り口のご当地マスコットキャラクター“すな丸”君が自閉症・発達障害関連展示のコンセルジュをしてくれています。

④



他にもこの春の県内の啓発展示箇所は

☆生駒市

☆川西町文化会館

☆三宅町 など 毎年、啓発ありがとうございます！
声を届け理解を広げましょう！ 毎日が啓発デー！！



「私」の本当の思い

ASD 自閉スペクトラム症にかかわる方のためのオンライン連続セミナー

ASDの人のコミュニケーション方法が独特であること、私たちは「察する」のではなく、彼らの本当の「思い」は広く知られていますが、私たちは本当に彼らの思いを正確に受け取ることができるのでしょうか。

「私たちが「察する」のではなく、彼らの本当の「思い」を広く知られていますが、私たちは本当に彼らの思いを正確に受け取ることができるのでしょうか。」

7.9
Sat
13:00-15:30

ASDの基礎理解
学習スタイルを中心に

川崎医療福祉大学子ども医療福祉学科 講師 **重松 孝治氏**

8.27
Sat
13:00-15:30

評価から支援へ
自閉症eサービス全国ネット代表 オフイスほん代表社員 **中山 清司氏**

9.17
Sat
13:00-15:30

ASDの人への表出コミュニケーション支援
絵カード交換式コミュニケーション・システム (PECS®) を中心に
フリースランズ児童精神科医 **門 眞一郎氏**

10.15
Sat
13:00-15:30

行動障害といわれる方の支援について
HEROES 西陣麦酒の実践で大切にしているもの
特定非営利活動法人HEROES理事長 **松尾 浩久氏**

11.19
Sat
13:00-15:30

親の支援なき後「当たり前」に生きる」権利を護るには
成年後見制度の期待と課題：実践から見えたもの
社会福祉法人あおぞら共生会 副理事長
NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター 副理事長 **明石 洋子氏**

お申込みはこちら

■ Zoomによる配信です
*期間限定早送り配信あり

■ 定員 90名 (先着順)

【受講費】5回分一括のみ (税込)

一般.....15,000円
賛助・団体会員...10,000円
会員.....5,000円

NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ 事務局学習部

〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8 ☎ <https://npoanpopo.jimdofree.com/>
☎ 077-575-3796 open: 月・木 (祝日除く) 10~14時 ✉ ipshiga@npoanpopo.jimdofree.com

講師 profile

重松 孝治氏 川崎医療福祉大学子ども医療福祉学科 講師

大阪教育大学教育学部附属香見教育実習卒業、同大学院修士課程修了。大阪府立の特別支援学校教師を経て、2007年より川崎医療福祉大学、医療福祉学科講師。2014年より現職。滋賀では毎年支援者養成ワークショップの講師を務める。TEACCH®上級コンサルタント。

中山 清司氏 自閉症eサービス全国ネット代表 オフイスほん代表社員

社会福祉法人横浜やまひこの里・京都市発達障害者支援センターを経て、現職に至る。

門 眞一郎氏 フリースランズ児童精神科医

1973年京都大学医学部卒業、1981年から2017年まで京都市児童福祉センター勤務。ピラミッド・エデュケーション・コンサルタント社名義でコミュニケーション・絵カード交換式コミュニケーション・システム・トレーニング・マニュアル監訳者。

松尾 浩久氏 特定非営利活動法人HEROES理事長

行動障害といわれる方が地域で多様な生活を送る支援モデルを目指し特定非営利活動法人HEROESを設立する。公認心理師、社会福祉士、介護福祉士などの資格を保有し、福祉職や自閉症支援のスーパーバイザー、年度行動改善支援者養成研修、サービス管理責任者研修などの講師を務める。

明石 洋子氏 社会福祉法人あおぞら共生会 副理事長
NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター 副理事長

知的障害を持つ自閉症の長男 (54年生) の成長に合わせて「地域で共に生きる」を实践、働く場も地域で、さらに親と子の関係を築くために「あおぞら共生会」を平成15年に設立し、現在13事業を展開している。

ASDの人への表出コミュニケーション支援

ASDの人は通常のコミュニケーションに困難を抱えており、その支援には適切なコミュニケーション手段を使うことが欠かせません。中でも自閉的な表出を救える方法として、エビデンスの確立している絵カード交換式コミュニケーション・システム (PECS®) について紹介します。

ASDの人のコミュニケーションに困難を抱えており、その支援には適切なコミュニケーション手段を使うことが欠かせません。中でも自閉的な表出を救える方法として、エビデンスの確立している絵カード交換式コミュニケーション・システム (PECS®) について紹介します。

ASDの人のコミュニケーションに困難を抱えており、その支援には適切なコミュニケーション手段を使うことが欠かせません。中でも自閉的な表出を救える方法として、エビデンスの確立している絵カード交換式コミュニケーション・システム (PECS®) について紹介します。

NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ

〒525-0031 滋賀県草津市若竹町2-8 ☎ <https://npoanpopo.jimdofree.com/>

○川崎市の明石洋子さんから日本自閉症協会のメー
リングリストで情報を頂きました。（河村）



皆様、明石洋子です。

いつも大変お世話になっており
ます。

国連が定めた世界自閉症啓発
デー（4月2日）からの一週間の、日本で制定した「発
達障害啓発週間」が始まりました。

今、日本各地で、タワーや建物がブルーにライトアッ
プされていますね。

ご案内が遅れましたが、川崎市自閉症協会の今年の
「世界自閉症啓発デー」の取り組みをご紹介します。
「ようこそ自閉症ワールドへ」も15回になります。
第13回の公開イベントがコロナで中止になって、
14回は過去12回の公開イベントのまとめとして
動画2本を作成して、YouTubeにアップしました。

今年も公開イベントができませんでしたのだ、動画
を作成して、YouTubeにアップしています。

川崎市では、6か所のブルーライトアップ（場所は
添付）と、6人の理事（内山登紀夫氏・浅野史郎氏・
大石剛一郎氏・志賀利一氏・高木一江氏そして明石
洋子）による、市民向けの「自閉症への理解と支援
を願って」のメッセージ動画を作成して、ホームペー
ジからYouTubeに配信しております。

案内を添付しました。

下記のアドレスから動画が見れます。

お時間がありましたら、どうぞ覗いてくださいます
とうれしいです。

<https://youtu.be/GP3p2C4GNc0>

2022 年度補助金・助成金事業について

日本自閉症協会事務局から次の連絡がありました。2022 年の補助金・助成金事業につきまして、例年通り各
県自閉症協会様の委託事業として、以下の事業の実施をさせていただきたく、ご希望のお伺いのご連絡とな
ります。別途補助事業の概要、申込書を添付いたしますので、ご検討の程宜しくお願い申し上げます。（※
奈良県自閉症協会事務局に届いています。）

実施事業

- 1、全国心身障害児福祉財団
・福祉相談事業
- 2、公益財団法人 JKA
・学習相談
・集団指導キャンプ



*尚、上記につきましては、新型コロナウイルスの感染防止に留意した上で、実施可能な範囲でご検討いた
だけますと幸いです。

* 2021 年度の加盟団体代表者・事務局のご担当者様にご連絡をさせていただいて
おります。尚、2022 年度の加盟団体情報の事務連絡を既にいただいております
団体につきましては、新しい連絡先となっております。

ご不明な点がございましたら、事務局樋口までご連絡いただきたく存じます。

今後とも宜しくお願い申し上げます。 以上



第40回 リモート版

奈良県 障害者・家族・県民の

つながり祭

2022 5.15 (日) PM.1時～

第40回つながり祭は、zoomを使ってリモートで開催します。
例年のように福祉パークでの開催ではありませんのでご注意ください。
参加の対象は、事前の申し込みを済ませた団体となります。
内容は、各団体の発表や紹介などの動画です。なお観客としての参加も可能です。視聴を希望される団体及び団体内の個人の方は、下記QRコードから5月8日（日）までに申し込みください。



主催 奈良県障害者協議会
共催 社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団
問い合わせ 事務局（090-2064-8781 夜間のみ）
mail tsunagarisai.nara@gmail.com
電話・メールどちらでも

オンラインつながり祭ってなに？



お願い

国立障害者リハビリテーションセンターの方から、日本自閉症協会事務局に、昨年国立障害者リハビリテーションセンターで制作された「発達障害ナビポータルサイト」のデータベースに加盟団体の皆様のホームページのURLを掲載させていただきたいとの依頼がありました。依頼内容は日本自閉症協会のホームページで公開している各団体様HPのURL情報

(<http://www.autism.or.jp/organization05/kameidantai/kameidantai.htm>) になりようです。このことで、さらに奈良県自閉症協会のホームページも全国の多くの人の目に留まることになります。会員のみなさまもいちど奈良県自閉症協会のホームページの掲載内容の点検をお願いします。何かお気づきのところがあれば、事務局にメールをお願いします。

メール宛先: kawafune@ares.eonet.ne.jp

「地方自治体等の取組DB」

発達障害支援に関する地方自治体等の取組および関連情報データベース

- ・ 当事者・家族等や支援者の皆さまが必要な情報にアクセスしやすくなり、相互に情報を共有しやすくなるコンテンツの作成を目指します。
- ・ 全国の発達障害者支援センターや地方自治体におけるさまざまな取組や成果物等の情報を集約・整理して、ひろく発信します。
- ・ 発達障害教育推進センターとの連携により、教育分野(特別支援教育)の成果物等も収載予定です。

【カテゴリーでさがす※】【地域でさがす】【ライフステージでさがす】の3つの検索窓によるAND検索機能です。

※カテゴリー

- 相談窓口・支援機関リスト
- 医療機関リスト
- 発達障害者支援センター
- 当事者会・親の会
- 保護者・家族向け支援(ペアトレ、ペアプロ、メンター含む)
- 啓発パンフレット・リーフレット
- 研修会・イベント情報
- 支援者向け資料
- 教育センター・特別支援教育課
- 特別支援教育
- 教育支援計画
- サポートファイル
- 合理的配慮
- 防災・災害
- 自閉症啓発デー関連
- 障害福祉計画
- 当事者・家族・一般向け資料
- 子どものこころ(の診療拠点病院事業)
- その他

○初期版のプロトタイプはほぼ完成し、情報掲載に係る確認作業などの最終調整中です。
4月下旬～5月上旬の公開を予定しています。

ありがとうございました



日本自閉症協会の政策部より、グーグルアンケートによる「新型コロナウイルスが自閉症の人と家族に与えた影響」についての調査アンケートを行いたいの協力をお願いしたい旨の連絡がありました。3月18日が締め切りだった都合で、前号絆には記事として掲載できませんでした。そこで、メーリングリストに登録されている方にはメールでお願いしました。日本自閉症協会事務局から、皆様にご協力をいただきまして、284件の回答をいただくことができました。ご協力誠にありがとうございました。また、集計結果をまとめましたらアナウンスをさせていただきます！今後ともどうぞよろしくお願いいたします。との連絡をいただいています。奈良県からアンケート協力されたみなさま、ありがとうございました。このように絆に間に合わない情報などが入った場合にも、みなさまに対応していただけるために、奈良県自閉症協会のメーリングリストに参加していただけると助かります。また奈良県自閉症協会の facebook やホームページも絆に間に合わない新しい情報が掲載されますので、時々、覗いていただけるとありがたいです。(河村)

会計より・・・「令和4年度会費納入のお願い」&お礼

今年もきれいな桜の花を、楽しめたことと思います。庭の花も色とりどり咲き始め、日中過ごしやすい季節となりました。

早速、会費納入いただいた会員の皆様ありがとうございました。さて、ご承知のとおり、東京本部へ（「いとしご」の配布料等）年度初（4/1）の在籍会員数で前払いする規定となっておりますので、ご理解頂き、5月末日までに会費納入にご協力のほど、よろしくお願い致します。

会費・納入先は下記のとおりです。

（会費）

- ① 個人正会員 ￥6000.-
- ② 賛助会員 個人 ￥3000.- 法人 ￥10000.-

（振込先）

㊦ ゆうちょ銀行

口座番号：00980-0-225697

名義：特定非営利活動法人 奈良県自閉症協会

① 南都銀行郡山支店

口座番号：普通預金 1068978

名義：奈良県自閉症協会 代表者 河村舟二

*お願い：振り込まれる時、（シャカイフクシホウジンやトクテイヒエイリカツドウホウジン）等の法人格名は、記載しないで下さい。

*住所や名前の変更があれば、下記、理事長河村さんまでお願いします。

事務局 理事長 河村舟二

E-mail kawafune@ares.eonet.ne.jp

電話 & FAX 0743-55-2763



発行人：関西障害者定期刊行物協会

住 所：〒543-0015

大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4F

編集人：奈良県自閉症協会

定 価：100円

